

平成 28 年 5 月 9 日

各 位

香 川 県 高 松 市 鍛 冶 屋 町 7 番 地 1 2
穴 吹 興 産 株 式 会 社
代表取締役社長 穴 吹 忠 嗣
(コード番号 8928 東証第一部)
問い合わせ先 専務取締役 富岡 徹也
管理本部長
電 話 番 号 0 8 7 (8 2 2) 3 5 6 7

当社子会社（株式会社クリアナブキ）における業績予想の修正のお知らせ

当社子会社の株式会社クリアナブキでは、平成 27 年 11 月 6 日に公表しました平成 28 年 3 月期 通期（平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日）の業績予想の修正に関して、別紙のとおり開示しておりますので、お知らせいたします。

なお、この修正による当社の連結業績に及ぼす影響は軽微であり、現時点で当社の連結業績予想についての修正はありません。

以 上



平成 28 年 5 月 9 日

各 位

会社名 株式会社 クリエアナブキ
 代表者名 代表取締役社長 藏 田 徹
 (JASDAQ・コード番号 4336)
 問合せ先 取締役執行役員管理部長 上 口 裕 司
 T E L . 0 8 7 - 8 2 2 - 8 8 9 8 (代 表)

平成 28 年 3 月期 業績予想の修正 及び 特別損失の発生に関するお知らせ

平成 28 年 3 月期 通期（平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日）の業績について、平成 27 年 11 月 6 日付当社「平成 28 年 3 月期 業績予想の修正に関するお知らせ」にて公表いたしました業績予想を、下記のとおり修正いたします。また、当該期において特別損失が発生いたしましたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正の内容

(1) 平成 28 年 3 月期 通期 連結業績予想の修正（平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	6,652	98	100	50	21.62
今回修正予想 (B)	6,570	92	95	28	12.36
増 減 額 (B - A)	△81	△5	△4	△21	
増 減 率	△1.2%	△5.2%	△4.8%	△42.8%	
【ご参考】 前期実績 (平成 27 年 3 月期)	6,147	77	83	40	17.46

(2) 平成 28 年 3 月期 通期 個別業績予想の修正（平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	4,378	10	10	2	0.86
今回修正予想 (B)	4,372	6	35	24	10.69
増 減 額 (B - A)	△5	△3	+25	+22	
増 減 率	△0.1%	△39.0%	+257.2%	+1,136.0%	
【ご参考】 前期実績 (平成 27 年 3 月期)	4,419	26	28	14	6.28

2. 特別損失の発生及びその内容

首都圏における営業戦略の見直しにより、当社東京支店（平成 28 年 8 月に移転予定）の固定資産などについて投下資本の回収が見込めなくなったことから、連結損益計算書において 14 百万円、損益計算書において 8 百万円の減損損失を認識いたしました。

3. 業績予想の修正の理由

(1) 連結業績予想の修正理由

① 売上高

㈱クリエ・イルミネートが営むIT関連事業の売上が低調に推移したこと、㈱クリエ・ロジプラスが営む物流関連アウトソーシング事業の売上が下半期において伸び悩んだことなどから、前回発表予想を僅かに下回る見込みであります。

② 営業利益

主に、収益性の高い人材紹介事業の売上が計画未達となったことから、前回発表予想を僅かに下回る見込みであります。

③ 経常利益

「② 営業利益」に記載の理由により、前回発表予想を僅かに下回る見込みであります。

④ 親会社株主に帰属する当期純利益 及び 1株当たり当期純利益

「② 営業利益」に記載の理由に加え、「2. 特別損失の発生及びその内容」に記載の理由により、前回発表予想を下回る見込みであります。

(2) 個別業績予想の修正理由

① 売上高

収益性の高い人材紹介事業の売上が計画未達となったことなどから、前回発表予想を僅かに下回る見込みであります。

② 営業利益

「① 売上高」に記載の理由により、前回発表予想を下回る見込みであります。

③ 経常利益

連結子会社からの配当金の受取りなどにより、前回発表予想を上回る見込みであります。

④ 当期純利益 及び 1株当たり当期純利益

「③ 経常利益」に記載の理由により、前回発表予想を上回る見込みであります。

(注) 本資料に記載されている将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づくものですが、当社としてその達成を約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上